

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	10-	4	
事業名	在宅医療・介護連携推進事業（介護特会）	会計 特会	款 3	項 3	目 5
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	健康長寿課		
施策	3-3 高齢者福祉の推進	係名	高齢福祉係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的（対象がどのような状態になっているか）	医療・介護・福祉の連携を図り、在宅医療の必要性や課題を検討する協議会を設置し、在宅医療を中心とした地域で包括的にケアを行うシステムを構築する。医療・介護・福祉等のネットワークを築き、在宅支援のシステムを構築することにより、高齢者が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らし続けることができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療・介護の資源の把握・・・「在宅医療・介護リスト」を作成し、他職種の連携強化を図る。 ・在宅医療・介護連携に関する相談支援・・・相談員を配置し、他職種の連携強化を図る。 ・地域住民への普及啓発・・・講演会、医療介護フェアなどを開催し、住民への普及啓発を図る。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			2,539		11,769		12,431		
財源 内訳	直接事業費A		229		9,129		10,121		
	うち一般財源		229		9,129		10,121		
人件費（千円）B			2,310		2,640		2,310		
内訳	一般職員（人・千円）		0.35	2310	0.4	2640	0.35	2,310	
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	D国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	階層別連携コーディネートにより『連携』から『協働』へと重層的に事業を進化させるとともに、『人生会議（ACP）』を取り入れた住民啓発を図る。	③取組の課題	・医療・介護専門職が安全かつ安心して研修会に参加できる環境づくりが必要。
②R3年度に実施した取り組み	コロナ感染症拡大のため、医療・介護専門職の現場がひっ迫する中で、オンラインを活用した、研修会や会議、映画上映など工夫し実施することができた。また、コロナ関連の研修会を開催することができた。	④今後の改善計画	・医療・介護専門職に向けてコロナ感染症に対応した事業を実施する。 ・『ACP』を取り入れた専門職への研修会及び住民への普及啓発を実施する。 ※今後もいなべ市と協働で事業を実施する。